



平成19年7月25日

各 位

会社名 株式会社サンウッド
代表者名 代表取締役社長 中島 正章
(JASDAQ・コード8903)
問合せ先
取締役 経営企画本部長 岡本 真人
電話 03-5425-2662

平成20年3月期中間期及び通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想について、平成19年5月18日付当社「平成19年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,900	820	560	320
今回修正予想(B)	11,800	1,510	1,210	990
増減額(B-A)	1,900	690	650	670
増減率(%)	19.2	84.1	116.1	209.4

(2) 通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,200	1,350	850	490
今回修正予想(B)	15,100	1,200	650	670
増減額(B-A)	△3,100	△150	△200	180
増減率(%)	△17.0	△11.1	△23.5	36.7

(3) 修正理由

中間期の売上高につきましては、事業用地の販売が早まったことから、当初予想比19億円増の118億円となる見込みであります。通期の売上高は、当初予定しておりました事業用地の取得が諸般の事情により、今期中の売上に計上する可能性が低下したため、今年度想定しておりました182億円という売上高の達成について慎重に検討した結果、現時点で予想できる売上高としては、当初予想比31億円減の151億円となる見込みであります。

従って、それに伴い、中間期の営業利益および経常利益につきましても、それぞれ1,510百万円（当初予想比690百万円増）および1,210百万円（当初予想比650百万円増）となる見込みであり、また、通期の営業利益および経常利益においては、1,200百万円（当初予想比150百万円減）および650百万円（当初予想比：200百万円減）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、一プロジェクトに係る問題の解決金として500百万円を受領、特別利益として計上することにより、中間期、通期ともに当初予想比増加となり、それぞれ990百万円（当初予想比670百万円増）、670百万円（当初予想比180百万円増）となる見込みであります。

なお、同プロジェクトにつきましては、当該土地を一宅建業者より取得し、当該土地に分譲用共同住宅を建設・分譲する事業を行うべく準備を進めておりました。しかしながら、当該土地について種々問題があることが判明、当社として当該宅建業者に問題解決を図るよう申し入れを行った結果、当該土地売買取引に係る問題解決金として当該宅建業者より5億円を受領致しました。

本プロジェクトの今後の見通しにつきましては、未だ正式に決定しておりませんので、問題解決となりました時点で発表致す所存です。

2. 平成20年3月期 単独業績予想の修正

(1) 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,900	340	180	160
今回修正予想(B)	11,800	1,030	830	830
増減額(B-A)	1,900	690	650	670
増減率(%)	19.2	202.9	361.1	418.8

(2)通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,200	870	560	380
今回修正予想(B)	15,100	730	360	550
増減額(B-A)	△3,100	△140	△200	170
増減率(%)	△17.0	△16.1	△35.7	44.7

(3)修正理由

上記、「1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正」の「(3)修正理由」で述べた理由と同じ理由であります。

（注記）

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる結果となりうることをご承知おきください。

以 上